

IPv6 トラフィック フィルタリングのアクセスリストの設定例

目次

- [概要](#)
- [前提条件](#)
- [要件](#)
- [使用するコンポーネント](#)
- [表記法](#)
- [設定](#)
- [ネットワーク図](#)
- [設定](#)
- [確認](#)
- [トラブルシューティング](#)
- [関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、IPv6 アクセス リストの設定例を紹介します。この資料に説明がある例ではルータ R1 および R2 は IPv6 アドレス方式で設定され、シリアルリンクを通して接続されます。2 人のルータで有効になる ルーティング プロトコルは IPv6 OSPF であり、両方のルータで設定されるループバックアドレスはこのコマンドでエリア 0 で (R1 および R2) 互いにアドバタイズされます: [IPv6 OSPFのプロセスID エリア エリアID \[例例 ID\]](#)。この例ではルータ R2 のループバック 0 インターフェイスから発信し、ルータ R1 のループバックインターフェイス 4 に達する Telnet トラフィックを拒否することを、必要とします。

この設定例はルータ R1 の IPv6 アクセス リスト (ネームド DENY_TELNET_Lo4) を組み立てるために [IPv6 access-list access-list-name](#) コマンドを使用します。Deny ステートメント `deny TCP 400A:0:400C::1 1001:ABC:2011:7::1 eq telnet` 割り当て文 `IPv6` に先行しています。

IPv6 ACL をインターフェイスに割り当てるために、インターフェイス設定モードでこのコマンドを使用して下さい: [IPv6 トラフィック フィルタ access-list-name {で |}](#)

前提条件

要件

この設定を行う前に、次の要件が満たされていることを確認します。

- [IPv6 アドレス割り当て方式に関する知識](#)
- [IPv6 のための OSPF の設定](#) のナレッジ

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は Cisco 7200 シリーズ ルータに IOS ソフトウェア リリース 15.1 on Cisco 基づいています (ルータ R1 および R2 コンフィギュレーションのために)。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

設定

この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

注: このドキュメントで使用されているコマンドの詳細を調べるには、[Command Lookup Tool](#) ([登録ユーザ専用](#)) を使用してください。

ネットワーク図

このドキュメントでは、次のネットワーク構成を使用しています。

設定

このドキュメントでは、次の設定を使用します。

- ルータ R1
- ルータ R2

ルータ R1

```
R1#show running-config version 15.0 ! hostname R1 ip
source-route ip cef ! no ip domain lookup ipv6 unicast-
routing !--- Enables the forwarding of IPv6 packets.
ipv6 cef interface Loopback1 no ip address ipv6 address
100A:0:100C::1/64 ipv6 enable ipv6 ospf 10 area 0 !---
Enables OSPFv3 on the interface and associates !--- the
interface loopback1 to area 0. !! interface Loopback2 no
ip address ipv6 address 200A:0:200C::1/64 ipv6 ospf 10
area 0 !! interface Loopback3 no ip address ipv6
address 300A:0:300C::1/64 ipv6 enable ipv6 ospf 10 area
0 !! interface Loopback4 no ip address ipv6 address
400A:0:400C::1/64 ipv6 enable ipv6 ospf 10 area 0 !
interface Serial1/0 no ip address ipv6 address
AB01:2011:7:100::/64 eui-64 ipv6 enable ipv6 ospf
network point-to-point !--- Sets the OSPFv3 network type
as point-to-point. ipv6 ospf 10 area 0 ipv6 traffic-
filter DENY_TELNET_Lo4 in !--- Filters the traffic based
on access list. serial restart-delay 0 clock rate 64000
! ipv6 router ospf 10 router-id 1.1.1.1 log-adjacency-
changes ! ipv6 access-list DENY_TELNET_Lo4 sequence 20
deny tcp host 400A:0:400C::1 host 1001:ABC:2011:7::1 eq
telnet !--- Denies telnet access to Lo4 from Lo1 of
router R2. permit ipv6 any any ! end
```

ルータ R2

```
R2#show running-config version 15.0 hostname R2 ip
source-route ip cef ! no ip domain lookup ipv6 unicast-
```

```
routing ipv6 cef ! interface Loopback0 no ip address
ipv6 address 1001:ABC:2011:7::1/64 ipv6 enable ipv6 ospf
10 area 0 !! interface Serial1/0 no ip address ipv6
address AB01:2011:7:100::/64 eui-64 ipv6 enable ipv6
ospf network point-to-point ipv6 ospf 10 area 0 serial
restart-delay 0 ! ipv6 router ospf 10 router-id 2.2.2.2
log-adjacency-changes ! end
```

確認

設定を確認するために、ping コマンドを使用して下さい。

ルータ R2

この出力例はルータ R2 がルータ R1 のループバックインターフェイスに達することができることを示します:

```
R2#ping ipv6 400A:0:400C::1 source lo0 Type escape sequence to abort. Sending 5, 100-byte ICMP
Echos to 400A:0:400C::1, timeout is 2 seconds: Packet sent with a source address of
1001:ABC:2011:7::1 !!!!! Success rate is 100 percent (5/5), round-trip min/avg/max = 20/32/44 ms
ルータ R2 のループバック 0 インターフェイスからのルータ R1 の telnet ループバック 4 インターフェイスを試みて下さい。
```

```
R2#telnet 400A:0:400C::1 /source-interface lo0 Trying 400A:0:400C::1, 23 ... % Connection
refused by remote host
```

上記の output は telnet がリモートホストによって否定されることを確認します (すなわち、ルータ R1 によって) 。

この例に示すようにルータ R1 で作成されるアクセス リストをチェックするために [提示 IPv6 access-list DENY_TELNET_Lo4](#) コマンドを使用して下さい:

ルータ R1 上

```
R1#show ipv6 access-list DENY_TELNET_Lo4 IPv6 access list DENY_TELNET_Lo4 deny tcp host
400A:0:400C::1 host 1001:ABC:2011:7::1 eq telnet sequence 20 permit ipv6 any any (82 matches)
sequence 30
```

[Output Interpreter Tool](#) (OIT) ([登録ユーザ専用](#)) では、特定の show コマンドがサポートされています。OIT を使用して、show コマンド出力の解析を表示できます。

トラブルシューティング

現在のところ、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [IPv6 コンフィギュレーション ガイド、Cisco IOS Release 15.1 M&T](#)
- [IPv6 に関する技術サポート](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)